

市政に対する

一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。12月定例会では、12月11日・12日の本会議で15人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です（掲載は質問順、5ページまで続きます）。



**企業と協定を締結し災害時に
段ボールベッドの導入を**

公明党 井上 賢一

●安全安心のまちづくりについて

Q 段ボール製造会社と協定を締結し、災害時に段ボールベッドを導入しないか。

A 平成29年度に、県が東日本段ボール工業組合と、災害時の物資調達に関する協定を締結予定であり、協定締結後は、県を通じて段ボールベッドの調達が可能となる。

●高齢者の包括的なケアについて

Q 傾聴ボランティアをどのように周知していくか。

A 傾聴ボランティア団体を含め、地域福祉向上のため活動を行っているボランティア団体や民生委員・児童委員、地区社会福祉協議会など



1月10日、綾西小学校の児童が議場を見学しました

の活動を、市広報紙などさまざまな機会を通じて、周知を図っていききたい。

●小・中学校の教育の充実について

Q 新学習指導要領には、児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考を身につけるための学習活動を実施することが明記されているが、本市の準備状況は。

A 国の動向を注視しながら、指導体制などの準備を進めるとともに、研修会や小・中学校訪問の際に、新学習指導要領の理念を周知する機会などを持ち、準備を進めたいと考えている。

●航空機騒音による移転跡地の活用について

Q 移転対象地域となっている、上土棚北4丁目にある2650・2平方メートルの倉庫跡

と聞いている。

●市内の中学校への自転車通学禁止解除について

Q 通学に時間がかかる生徒に自転車通学を許可すべきだと思いが、保護者へアンケート調査を実施しないか。

A 自転車通学は、各学校で決めているため、アンケート調査の実施はご意見として校長会に伝えていく。



**並塚笹山線の南側交差点に
信号機設置を検討しては**

新公会 青柳 慎

●都市計画道路並塚笹山線延伸付近工事について

Q 並塚笹山線と市道20号線との交差点に、安全対策として信号機を設置しないか。

A 平成24年度から、信号機設置の調整も含め、県警察本部と交通協議を重ねている。県警本部では、交通量が大きく変わると予想される、藤沢市の都市計画道路と県道22号が接続する際、並塚笹山線と市道20号線の交差点に、信号機を設置する方針であると聞いている。



綾瀬イルミネーションが昨年12月9日から26日まで開催されました



1月24日から28日まで、市内小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の作品が展示された「ふれあい・のびのび作品展」が開催されました。市役所7階市民展示ホールにて。

日本共産党 上田 博之



**介護保険料の引き下げと
市独自の減免制度の創設を**

●介護保険の充実と負担軽減の取り組み

Q 介護保険は、公的給付の削減や利用料の引き上げなどにより、社会が支えるという理念は色あせ、家族の負担が増えているが、介護保険料の引き下げは考えないのか。

A 第7期介護保険事業計画では、後期高齢者の増により、給付費が増え、保険料上昇につながる。適正な推計値設定や介護給付費準備金の運用などにより、保険料の負担を十分に考慮し、決定していく。

Q 県内の多くの自治体では低所得世帯に対し、独自の介護保険料減免制度を実施しているが、市の考えは。

A 保険料の独自減免は、

適当ではないと国から見解が示されており、現在、低所得世帯を対象として新たに減免することは考えていない。

●市民の誇りになり、災害時に機能する光綾公園の改修を

Q 観光資源としてバラ園を拡張することだが、その大きさと維持管理費用は。

A 面積を現在の4〜5倍に拡張し、450万円かかっている維持管理費用も4〜5倍必要になると考えている。

Q 多目的球場は、災害時の仮設住宅地になると想定される。重機が出入り可能なネットフェンスを設置しては。

A 大型車両出入り口を確保し、フェンスが進入口の支障とならないよう検討する。

議案は、このように
審議されます



市長や議員
が提出

本会議で議案
の提案説明

議案に対する質疑

所管委員会に付託
(審査を委ねること)

委員会審査

本会議で委員会の
審査結果を報告

報告に対する質疑

討論(賛成
反対)

採決(可決
否決)

市長に結果を送付

意見書は国・県など
関係行政庁に提出

委員会審査をしないもの